

オディリア通信

あいあい

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

秋号(No.87)

令和4年11月10日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073

Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp

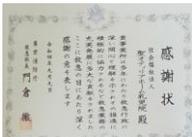
ホームページ <http://odilia.jp>

昼夜の寒暖の差もだんだんと大きくなり、少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。日差しの暖かい時間帯に、子どもたちはたくさん外で遊んでいます。

9月16日、東京消防庁から表彰を受ける機会がありました。日ごろから救命救急訓練などを行っていることに対して、野方消防署長に来ていただき救急部長賞をいただきました。

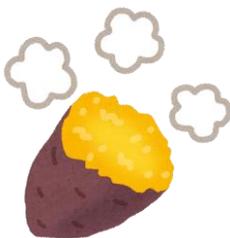
乳児院では毎月地震や火災を想定した避難訓練のほか、年間計画の中で救命救急の訓練もおこなっています。子どもたちが万が一、体調に異変をきたした場合などを想定し、看護師の計画のもと部屋ごとにシミュレーション訓練を行っています。心肺蘇生のほかに、部屋からの内線電話を受けた職員が救急車の手配やAEDを事務所からもっていく流れの訓練です。また、消防署の方に協力していただき、保育士、看護師だけでなく、各部署の職員も参加し実際にAEDを使った訓練も行っています。

子どもたちの命を守るために、たくさんのご関係機関の方の力を借りながら、職員も日々、努力しています。



施設長 鎌倉 道子

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



心理士から

『わたしたちの身近にあらわれるケア』

みなさんは、普段生活をしていて「ケア」という言葉を聞いたことがあると思います。テレビでは「スキンケア」のCMが流れたり、医療現場では「ディケア」や「在宅ケア」と言われたりしていますね。では、そもそも「ケア」とはどんな意味を持つ言葉なのでしょいか。

英語の「ケア care」は、「世話をやる」や「看護する」という直接的な行動を示す意味もありますが、「心配する」「関心がある」といった相手を思いやる気持ちの意味も含められています。

つまり、相手のために何かすることでも大切なケアですが、相手を気にかけて心配したり関心を向けたりするのと、自体が、すでにケアの営みとなっているのです。

普段の生活のなかで「疲れてさうだね、どうしたの?」「と心配したり」「あれ、髪の毛切った?」「今日の服、いいね」と相手に関心を向けたりするのと、立派なケアだと考えるのと同じ。

スキンケアをしないと肌が荒れてしまふように、人間もケアをされないと、身体はもちろん、気持ちもちろんへくれ立ってしま

います。これは子どもに限らず、大人でもそうです。

「1人でひとつ、難しい」ことがあります。世間一般では自分ひとりで色々できて、周囲に迷惑をかけない「自立」が大切であり、人に頼ったり甘えたりすることがあまり良しとされない場合が時々見られます。もちろん、そういった意味での自立も大切ですが、そついつ自立だけが重視される社会では、安心して人にケアを求めることができませぬ。

小児科医の熊谷晋一郎氏は「自立とは

『依存先を増やすこと』と書いています。言い替えれば、安心してケアを求めて頼る相手をつくること、つまり、より自立につながることを言えるのではないでしょいか。

子どもたちが安心して自立できるように、大人たちが子どもにケアの目を向け、依存先になることが大切なのはもちろんです。しかし、そのためには大人たちも安心して人を頼り、辛いときにはケアを求め、時には人をケアする関係を持つことが大切だと言えるのと同じ。



(心理士 戸田)

ハロウィン

10月最後の一大イベント、ハロウィンの日がやってきました。

ハロウィンとは、キリスト教の聖人にお祈りをする「万聖節」の前夜祭で、秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出すという意味のある行事です。また、悪くて怖いお化けから守るために仮装をするのだと言われています。

今年は、地域のハロウィンにも参加することができました。10月に入ると、かぼちゃやおばけにちなんだ製作を行ったり、様々な仮装をしたり等、ハロウィンならではの活動を楽しめます。しかし、実際に鮮やかに装飾された地域の様子を見ると、子どもたちの反応も普段とは違い、緊張しながらも興味津々に周囲を見渡していました。

そして、ハロウィン当日。それぞれ着替えを終えると、お菓子をもらいに出掛けます。高月輪児が先頭に立ち、一生懸命「トリック オア トリート」と声に出していました。

子どもたちの可愛らしい姿がたくさん見られた1日となりました。

(保育士 清水)

お楽しみ会

お楽しみ会では、保護者の方と一緒に遊んだり製作活動を行いました。

今年は、絵の具を使った感触遊び、うちにシールを貼る製作を楽しみました。

絵の具の感触遊びでは、まず好きな絵の具の色を何色か選びます。選んだ絵の具を画用紙に垂らし、シツプロックの中に入れると、絵の具が混ざりながらも素敵な作品が完成します。躊躇なく触る子ども、抵抗があり嫌がる子ども等それぞれです。

うちのシール貼りの活動では、スイカの形をした画用紙にシールを貼り、それをうちわに貼り付けます。シールの貼る位置も子どもそれぞれ個性が出ます。

活動後は部屋の遊具で遊んだり、絵本を読んだりしました。親子で過ごし、子どもたちの嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、手指消毒やこまめに換気する等、配慮しながら楽しい時間を過ごすごとができます。

(保育士 清水)



調理室から

『夏の終わりの合図』

院庭では、1年中様々な花を楽しむことができます。それは、子どもたちだけではなく私たち職員の間も和ませてくれます。夏の間は花だけではなく、野菜も収穫できます。なすびピーマン、キュウリにトマト。食へ頃になった野菜を子どもたちは職員と一緒に収穫します。

調理室で風食をひくってごんごん、子どもたちが収穫した野菜を手にとり嬉々としています。普段は元気いっぴいに話しをする子どもも、接するこの少ない調理職員の前では、口数が減りもじもじと恥ずかしそうです。それでも保育者が声を掛けながら、収穫したこの野菜を手渡してくれます。

先程まで太陽の光を浴びていた野菜は、ほんのり温かく自然の恵みを感じます。ミニトマトとキュウリは、洗って消毒し、収穫してきた部屋の子どもたち全員が食べられるように切り分けます。キュウリには、味噌またはマヨネーズを添えて盛り付けます。

なすびピーマンは、それぞれ種類だけの時もあります。時には両方を一度に収穫して食べることもあります。なすびピーマンの両方を渡されたとき

は、味噌や醤油で甘辛く炒めることが多いです。

こちらから1種類の時は、その日の献立にもよりますが、おなか和えにしたり、お浸しにすることが多いです。油で炒めて塩を軽く振りかける時もあります。

収穫最盛期には、午前中に2つのお部屋の子どもがそれぞれ収穫してきて、午後にも別のお部屋の子どもが収穫する日もあったりします。そんな日はひっきりなしに調理室に子どもたちが来てくれます。

このように、夏の間は子どもたちが調理室に顔を見せてくれる機会が自然と増えます。忙しい時でも小さなお客様がやってくる、腰を落として少しかおしゃべりをして、野菜を受け取り、ひと時の触れ合いに頬が緩みます。

持って来てくれる野菜が段々と小さくなり、その頻度が減っていくと、夏もそろそろ終わりのなと思うのです。

(調理師 小野口)



ナースの一言アドバイス

『インフルエンザの予防接種』について

12月頃からインフルエンザが流行を迎えますが、そんな季節が今年も近づいてきました。



インフルエンザは、潜伏期間が1〜3日間と短く、感染力が強い感染症です。小さな子どもたちは、抵抗力が弱く重症化しやすいのが特徴です。ワクチン接種を行うことで、インフルエンザに罹りにくくなったり、感染しても重症化を防ぐ効果が期待されます(感染を完全に阻止する効果はありません)。

◆大人と子どもの予防接種の違い

ワクチン接種は、生後6ヶ月以降から接種の対象月齢となります。大人は1回の接種ですが、子どもは2回接種することで抗体を多く作り、効果が高まるといわれています。

インフルエンザワクチンは、ワクチンを接種してから効果が出始めるまでに約2〜4週間程度かかるといわれています。毎年流行し始める時期、ピークの時期は前後しますが、一般的には12月〜4月頃です。

10月から予防接種が可能なので、流行を迎える前までにワクチン接種を終えておくのが良いでしょう。オテイリアでは、今年10月12日に1回目を実施しています。

◆予防接種の効果と副反応

効果の持続は約5ヶ月といわれていますが、個人差があり一定ではありません。年齢が低いと効果が持続しにくく、2〜3ヶ月程度ともいわれています。期間は、目安として覚えておいて下さい。また、持病がある場合は医師に相談して下さい。

副反応として多いものは、発赤、疼痛、腫脹などです。だいたい2〜3日程度で消失します。

◆インフルエンザの予防方法

流行前のワクチン接種、マスクの着用、手洗い・うがいの施行、適度な湿度の保持(50〜60%)、十分な休養とバランスの取れた栄養摂取、人混みを避けることが挙げられます。睡眠不足や疲れている時には、免疫力が低下しウイルスに感染しやすくなります。ご家族の皆様も、体調にはお気を付け下さい。

(看護師 小橋川)

今後の行事

12月 クリスマス
1月 お正月
2月 節分



お知らせ

聖オテイリアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

すっかり日暮れも早くなり、秋の訪れを感じる今日この頃。暑かった夏が終わり散歩へ行く機会が増えました。落ち葉拾いやどんぐり拾いは、子どもたちにとって戸外活動での楽しみのひとつです。空のペットボトルに拾ってきた落ち葉やどんぐりを入れると、子どもたちに大人気なおもちゃが完成します。季節の遊びを取り入れながら、日々の活動を楽しんでいます。

(保育士 清水)